

連結貸借対照表

(令和3年3月31日現在)

自治体名: 磐田市
会計: 全体会計

(単位: 円)

科目名	金額	科目名	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	387,437,047,218	固定負債	157,865,227,045
有形固定資産	375,643,690,191	地方債等	90,624,023,329
事業用資産	110,029,157,973	長期未払金	-
土地	48,470,879,113	退職手当引当金	11,265,027,280
立木竹	-	損失補償等引当金	-
建物	133,939,993,138	その他	55,976,176,436
建物減価償却累計額	-81,256,248,376	流動負債	13,681,588,184
工作物	17,029,579,439	1年内償還予定地方債等	10,074,619,572
工作物減価償却累計額	-9,487,035,299	未払金	1,761,904,174
船舶	-	未払費用	14,483,406
船舶減価償却累計額	-	前受金	18,781,356
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	1,362,036,486
航空機	-	預り金	381,930,982
航空機減価償却累計額	-	その他	67,832,208
その他	7,763,871	負債合計	171,546,815,229
その他減価償却累計額	-5,820,764	【純資産の部】	
建設仮勘定	1,330,046,851	固定資産等形成分	395,347,350,397
インフラ資産	249,800,156,160	余剰分(不足分)	-162,183,837,432
土地	21,790,471,745	他団体出資等分	-
建物	11,656,283,675		
建物減価償却累計額	-3,401,488,247		
工作物	489,012,323,365		
工作物減価償却累計額	-271,351,914,526		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	2,094,480,148		
物品	31,530,518,850		
物品減価償却累計額	-15,716,142,792		
無形固定資産	261,346,041		
ソフトウェア	252,108,329		
その他	9,237,712		
投資その他の資産	11,532,010,986		
投資及び出資金	1,047,244,564		
有価証券	-		
出資金	1,047,244,564		
その他	-		
投資損失引当金	-817,999,999		
長期延滞債権	708,538,668		
長期貸付金	2,204,485,000		
基金	8,177,063,787		
減債基金	-		
その他	8,177,063,787		
その他	339,035,626		
徴収不能引当金	-126,356,660		
流動資産	17,273,280,976		
現金預金	4,960,498,446		
未収金	4,340,928,531		
短期貸付金	-		
基金	7,910,303,179		
財政調整基金	7,910,303,179		
減債基金	-		
棚卸資産	92,252,907		
その他	40,000		
徴収不能引当金	-30,742,087		
繰延資産	-	純資産合計	233,163,512,965
資産合計	404,710,328,194	負債及び純資産合計	404,710,328,194

連結行政コスト計算書

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日自治体名: 磐田市
会計: 全体会計

(単位: 円)

科目名	金額
経常費用	128,068,070,917
業務費用	63,431,184,175
人件費	21,192,199,266
職員給与費	16,741,492,207
賞与等引当金繰入額	1,352,540,486
退職手当引当金繰入額	674,317,419
その他	2,423,849,154
物件費等	39,687,560,373
物件費	20,764,076,917
維持補修費	1,829,372,379
減価償却費	17,075,780,208
その他	18,330,869
その他の業務費用	2,551,424,536
支払利息	1,095,419,726
徴収不能引当金繰入額	87,099,974
その他	1,368,904,836
移転費用	64,636,886,742
補助金等	30,761,810,209
社会保障給付	33,846,376,968
その他	28,699,565
経常収益	22,331,455,884
使用料及び手数料	19,791,445,980
その他	2,540,009,904
純経常行政コスト	105,736,615,033
臨時損失	480,189,898
災害復旧事業費	-
資産除売却損	72,329,809
損失補償等引当金繰入額	-
その他	407,860,089
臨時利益	421,627,127
資産売却益	129,605,663
その他	292,021,464
純行政コスト	105,795,177,804

連結純資産変動計算書

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日自治体名:磐田市
会計:全体会計

(単位:円)

科目名	合計	固定資産等形成分	余剰分(不足分)	他団体出資等分
前年度末純資産残高	233,623,017,687	397,257,236,032	-163,634,218,345	-
純行政コスト(△)	-105,795,177,804		-105,795,177,804	-
財源	105,426,945,222		105,426,945,222	-
税収等	54,964,660,150		54,964,660,150	-
国県等補助金	50,462,285,072		50,462,285,072	-
本年度差額	-368,232,582		-368,232,582	-
固定資産等の変動(内部変動)		-1,829,728,051	1,829,728,051	
有形固定資産等の増加		15,390,946,858	-15,390,946,858	
有形固定資産等の減少		-17,307,611,600	17,307,611,600	
貸付金・基金等の増加		6,411,415,256	-6,411,415,256	
貸付金・基金等の減少		-6,324,478,565	6,324,478,565	
資産評価差額	5,084,890	5,084,890		
無償所管換等	-85,242,474	-85,242,474		
他団体出資等分の増加			-	-
他団体出資等分の減少			-	-
比例連結割合変更に伴う差額	-	-	-	-
その他	-11,114,556	-	-11,114,556	
本年度純資産変動額	-459,504,722	-1,909,885,635	1,450,380,913	-
本年度末純資産残高	233,163,512,965	395,347,350,397	-162,183,837,432	-

連結資金収支計算書

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日自治体名: 磐田市
会計: 全体会計

(単位: 円)

科目名	金額
【業務活動収支】	
業務支出	110,349,320,132
業務費用支出	45,712,433,390
人件費支出	20,846,483,172
物件費等支出	22,435,624,591
支払利息支出	1,101,880,307
その他の支出	1,328,445,320
移転費用支出	64,636,886,742
補助金等支出	30,761,810,209
社会保障給付支出	33,846,376,968
その他の支出	28,699,565
業務収入	122,709,210,947
税込等収入	53,962,091,804
国県等補助金収入	47,142,072,646
使用料及び手数料収入	19,078,325,053
その他の収入	2,526,721,444
臨時支出	378,276,333
災害復旧事業費支出	-
その他の支出	378,276,333
臨時収入	292,021,464
業務活動収支	12,273,635,946
【投資活動収支】	
投資活動支出	21,506,629,225
公共施設等整備費支出	15,806,819,322
基金積立金支出	4,496,552,806
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	1,197,918,000
その他の支出	5,339,097
投資活動収入	8,365,009,822
国県等補助金収入	2,246,277,079
基金取崩収入	4,392,273,760
貸付金元金回収収入	1,206,683,295
資産売却収入	203,137,761
その他の収入	316,637,927
投資活動収支	-13,141,619,403
【財務活動収支】	
財務活動支出	10,177,546,810
地方債等償還支出	10,112,825,182
その他の支出	64,721,628
財務活動収入	10,868,327,000
地方債等発行収入	10,868,327,000
その他の収入	-
財務活動収支	690,780,190
本年度資金収支額	-177,203,267
前年度末資金残高	4,914,279,376
比例連結割合変更に伴う差額	-
本年度末資金残高	4,737,076,109
前年度末歳計外現金残高	263,751,009
本年度歳計外現金増減額	-40,328,672
本年度末歳計外現金残高	223,422,337
本年度末現金預金残高	4,960,498,446

注 記

1. 重要な会計方針

(1)有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

- ①有形固定資産・・・取得原価
 ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。
 ア. 昭和59年度以前に取得したものの・・・再調達原価
 ただし、道路、河川及び水路の敷地においては備忘価額1円としています。
 イ. 昭和60年度以後に取得したものの
 取得原価が判明しているもの・・・取得原価
 取得原価が不明なもの・・・再調達原価
 ただし、取得価額が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。
 ②無形固定資産・・・原則として取得原価
 ただし、取得価額が不明なものは、再調達原価としています。

(2)有価証券及び出資金の評価基準及び評価方法

- ①満期保有目的の有価証券・・・償却原価法（定額法）
 ②満期保有目的以外の有価証券
 ア. 市場価格のあるもの・・・会計年度末における市場価格（売却原価は移動平均法により算定）
 イ. 市場価格のないもの・・・取得原価（又は償却原価法（定額法））
 ③出資金
 ア. 市場価格のあるもの・・・会計年度末における市場価格（売却原価は移動平均法により算定）
 イ. 市場価格のないもの・・・出資金額

(3)棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品・・・先入先出法による原価法（収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法による算定）

(4)有形固定資産等の減価償却の方法

- ①有形固定資産（リース資産を除く）・・・定額法
 なお、主な耐用年数は以下のとおりです。
 建物 2年～50年
 工作物 5年～60年
 物品 2年～50年
 ただし、水道事業会計の取替資産については、取替法によっています。
 ②無形固定資産（リース資産を除く）・・・定額法
 （ソフトウェアについては、庁内における見込利用期間（5年）に基づく定額法によっています。）
 ③所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産（リース期間が1年以内のリース取引及びリース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）
 ・・・・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

(5)引当金の計上基準及び算定方法

- ①徴収不能引当金
 未収金については、過去5年間の平均不能欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。
 ただし、一部の連結対象団体においては、法人税法に規定する法定繰入率に基づく繰入限度額によっています。
 長期延滞債権については、過去5年間の平均不能欠損率により（又は個別に回収可能性を検討し）、徴収不能見込額を計上しています。
 長期貸付金については、過去5年間の平均不能欠損率により（又は個別に回収可能性を検討し）、徴収不能見込額を計上しています。
 ②退職手当引当金
 期末自己都合要支給額を計上しています。
 ③損失補償等引当金
 履行すべき額が確定していない損失補償債務等のうち、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に規定する将来負担比率の算定に含めた将来負担額を計上しています。
 ④賞与等引当金
 翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(6)リース取引の処理方法

- ①ファイナンス・リース取引
 ア. 所有権移転ファイナンス・リース取引（リース期間が1年以内のリース取引及びリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除く）
 通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。
 イ. ア. 以外のファイナンス・リース取引
 通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。
 ②オペレーティング・リース取引
 通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(7)資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物（容易に換金可能であり、かつ、価値変動が僅少なもので、○か月以内に満期が到来する流動性の高い投資を言います。ただし、一般会計等においては、磐田市資金管理方針において、歳計現金等の保管方法として規定した預金等としています。）
 なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含んでいます。

(8)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。
 ただし、一部の連結対象団体（会計）については、税抜方式によっています。

(9)連結対象団体（会計）の決算日が一般会計等と異なる場合の処理

該当事項なし

2. 重要な会計方針の変更等

該当事項なし

3. 重要な後発事象

該当事項なし

4. 偶発債務

該当事項なし

5. 追加情報

(1)連結対象団体（会計）

団体（会計）名	区分	連結の方法	比例連結割合
国民健康保険事業特別会計	地方公営事業会計	全部連結	—
介護保険事業特別会計	地方公営事業会計	全部連結	—
後期高齢者医療事業特別会計	地方公営事業会計	全部連結	—
駐車場事業特別会計	地方公営事業会計	全部連結	—
水道事業会計	地方公営企業会計	全部連結	—
下水道事業会計	地方公営企業会計	全部連結	—
病院事業会計	地方公営企業会計	全部連結	—

連結の方法は次のとおりです。

- ①地方公営事業会計は、すべて全部連結の対象としています。
 ②地方公営企業会計は、すべて全部連結の対象としています。

(2)出納整理期間

地方自治法第235条の5に基づき出納整理期間が設けられている団体（会計）においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の係数をもって会計年度末の係数としています。

なお、出納整理期間を設けていない団体（会計）と出納整理期間を設けている団体（会計）との間で、出納整理期間に現金の受払い等があった場合は、現金の受払い等が終了したものと調整しています。